

フリーランス女性の働き方・キャリア志向分析

令和3年版 フリーランス女性のクラスター分析

合同会社カレイドスタイル・株式会社LASSIC 共同調査

はじめに 調査の背景

「フリーランス」という言葉が浸透してきて久しいですが、新型コロナウイルスの影響で、雇用されていないフリーランスや自営業の支援策の必要性などがメディアでも大きく取り上げられるようになり、それをきっかけに政府や世間でまだまだフリーランスの実態を詳しく知らない人が多いということが明るみに出ました。

「フリーランス」と一言で言っても十人十色・玉虫色で、個人個人で仕事内容も働き方もキャリアの志向もライフスタイルも異なります。そこで今回調査を行い、フリーランス女性の働き方やキャリアの志向性でクラスター分析を行いました。

特に女性の場合は、フリーランスであっても会社員であっても、自身のキャリアを考える上で出産・介護といったライフイベントが頭に浮かび、将来の描きづらさを感じたり、実際にキャリアを中断した女性の方もいらっしゃると思います。現在の日本では、女性は男性よりもキャリアが多様化・複雑化しやすい傾向があります。実際にお話を伺う中でも、キャリアに悩んだり、ライフイベントとの両立を目指してフリーランスという働き方を選ばれた方も多いようです。

今回の調査で、フリーランス女性の働き方やキャリア志向を類型化して示すことで、世の中が「フリーランス女性」の多様な実態に理解を深めるきっかけとなるとともに、女性のキャリアデザインの参考のひとつとなれば幸いです。

そもそもフリーランスってどんな人？どんな働き方？

フリーランスってどんな人？どんな働き方？

自分で事業を持ち、会社に雇われない形で就業している方をフリーランスと定義。個人事業主はもちろん、広義に会社経営者（社員0～5名以下）、複業をしている会社員も含まれます。報酬形態としては、業務委託型と成果報酬型で分かれ、業務委託型であれば企業のオフィスに出向することもあります（最近のリモートも増加）。成果報酬であれば場所も時間も問わないケースが多いので、比較的自由に働くことができます。

フリーランス女性の姿

日本では、男性の家庭育児参加が進んでいないなどの要因で、女性は男性と比べてライフイベントの影響を大きく受けやすく、パートナーの転勤などで女性がキャリアを諦めるケースも多いです。今回の調査で、フリーランスになったきっかけをお伺いしたところ、約4割の方が、結婚・出産・パートナーの転勤・介護などのライフイベントや家庭の事情でフリーランスに。逆に、フリーランスであればライフイベントや家庭の事情があっても柔軟に働き続けることが可能という回答が多く見られました。

時代の流れとフリーランスの変遷

	1980年代	1990年代	2000年代	2010年代	2020年代
時代背景	<ul style="list-style-type: none"> 男女雇用機会均等法 労働者派遣法 バブル経済 	<ul style="list-style-type: none"> バブル崩壊 非正規雇用の増加 ロスジェネ世代 	<ul style="list-style-type: none"> ITバブル インターネット普及 SNSが流行 	<ul style="list-style-type: none"> 政府の副業解禁 働き方改革 マッチングプラットフォーム・シェアリングエコノミー増加 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍でリモートワークの浸透 大企業の終身雇用崩壊宣言
フリーランス変遷	<ul style="list-style-type: none"> デザイナー、カメラマン等のクリエイティブ系か、美容師、スタイリスト、インテリアコーディネーター等の専門職 内職で扶養内で働く主婦 	<ul style="list-style-type: none"> プログラマー、SE等WEB系フリーランスの誕生 ブロガーの増加 	<ul style="list-style-type: none"> スマホ、SNSの発展でインフルエンサーの増加 ギグワーカー※増加 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍で減収したフリーランスの増加 	
ワークスタイルの変化	<ul style="list-style-type: none"> 週休二日制 	<ul style="list-style-type: none"> 職場にPC登場 	<ul style="list-style-type: none"> クールビズの普及 	<ul style="list-style-type: none"> ノマドワーカー コワーキング ワーケーション 	<ul style="list-style-type: none"> オンライン会議 コーリビング デュアルライフ増加

※ギグワーカー…インターネットのプラットフォーム等を通じて、単発もしくは短期の仕事を請け負う働き方をする人。Uber Eatsの配達員等。

フリーランス女性 クラスター調査 調査設計

■ 調査目的

フリーランス女性の働き方・キャリアの志向性を調査・分析する

■ 調査方法

インターネット調査（全国で実施）

■ 調査対象者

- ・ 20代～50代女性
- ・ 個人事業主
- ・ 社員0名～5名以下の会社社長
- ・ 複業をしている会社員

■ 調査期間

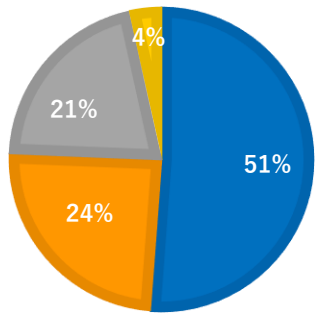
2021年8月3日（火）～ 2021年8月16日（月）



アンケート回答者属性

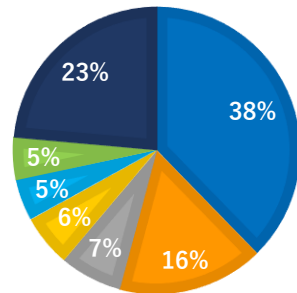
年齢

■ 40代 ■ 50代 ■ 30代 ■ 20代



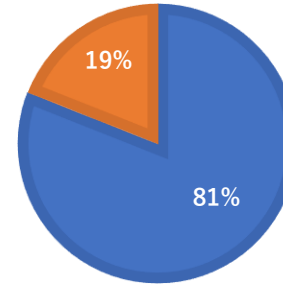
居住地

■ 東京都 ■ 神奈川県 ■ 埼玉県 ■ 京都 ■ 大阪 ■ 兵庫 ■ その他



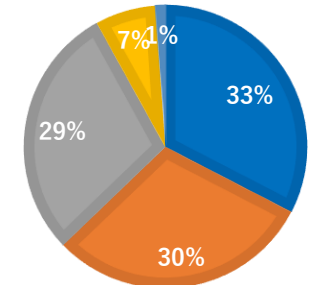
既婚/未婚

■ 既婚 ■ 未婚



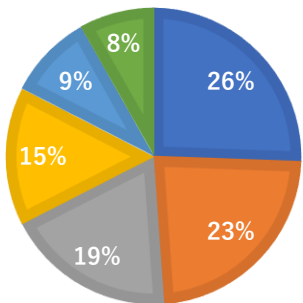
子どもの有無

■ 子どもはいない ■ 子ども2人 ■ 子ども1人
■ 子ども3人 ■ 子ども4人以上



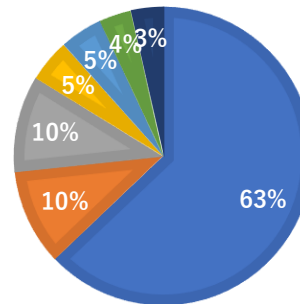
フリーランス・複業会社員歴

■ 11~15年 ■ 6~10年 ■ 1~5年 ■ 21年以上 ■ 16~20年 ■ 1年未満



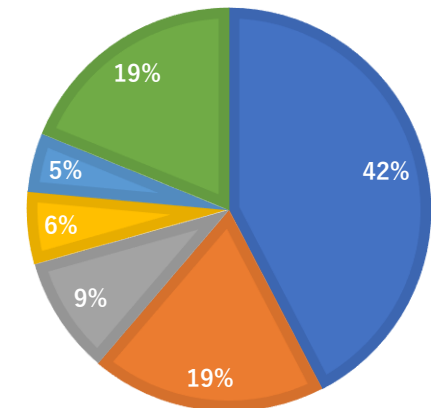
主となる収入を得ている就業形態

■ 個人事業主 ■ 会社経営（ひとり会社社長）
■ 会社員 ■ 契約社員
■ パートナーの扶養範囲で働く ■ 会社経営（社員5名以下）
■ その他



職種

■ ライター・編集 ■ デザイナー ■ コンサル ■ マーケ ■ カウンセラー ■ その他



フリーランス女性クラスター調査 クラスターまとめ



バリバリ独立型

会社員時代に培ったスキルを生かしてそのまま独立。成果報酬型で自由度が高い。好奇心旺盛で上昇志向が強く、法人化・新規事業・事業のスケールアップで自分の仕事の枠を広げたい。



プロキャリア型

会社員時代からの専門性を生かして独立。組織で上に行くより現場で働きたい。企業からの業務委託案件で収入も安定的。将来は専門性をより磨くため、スキルアップや資格取得の努力を欠かさない。



バランス重視型

スキルも経験もあるが、仕事とプライベートのバランスをとりながら働きたい。結婚・出産をきっかけに、フリーランスになった方が多い。上昇志向は強くない、自分の得意・好きな仕事で、自由にバランスよく一生働いていきたい。



天職発見型

会社員の頃と違う職種でフリーランスになった。一度会社を辞め、自分が本当にやりたいことを探し、そのための資格等取得。研修講師、カウンセラー、セラピストなど講師業に多い。



すきまワーカー型

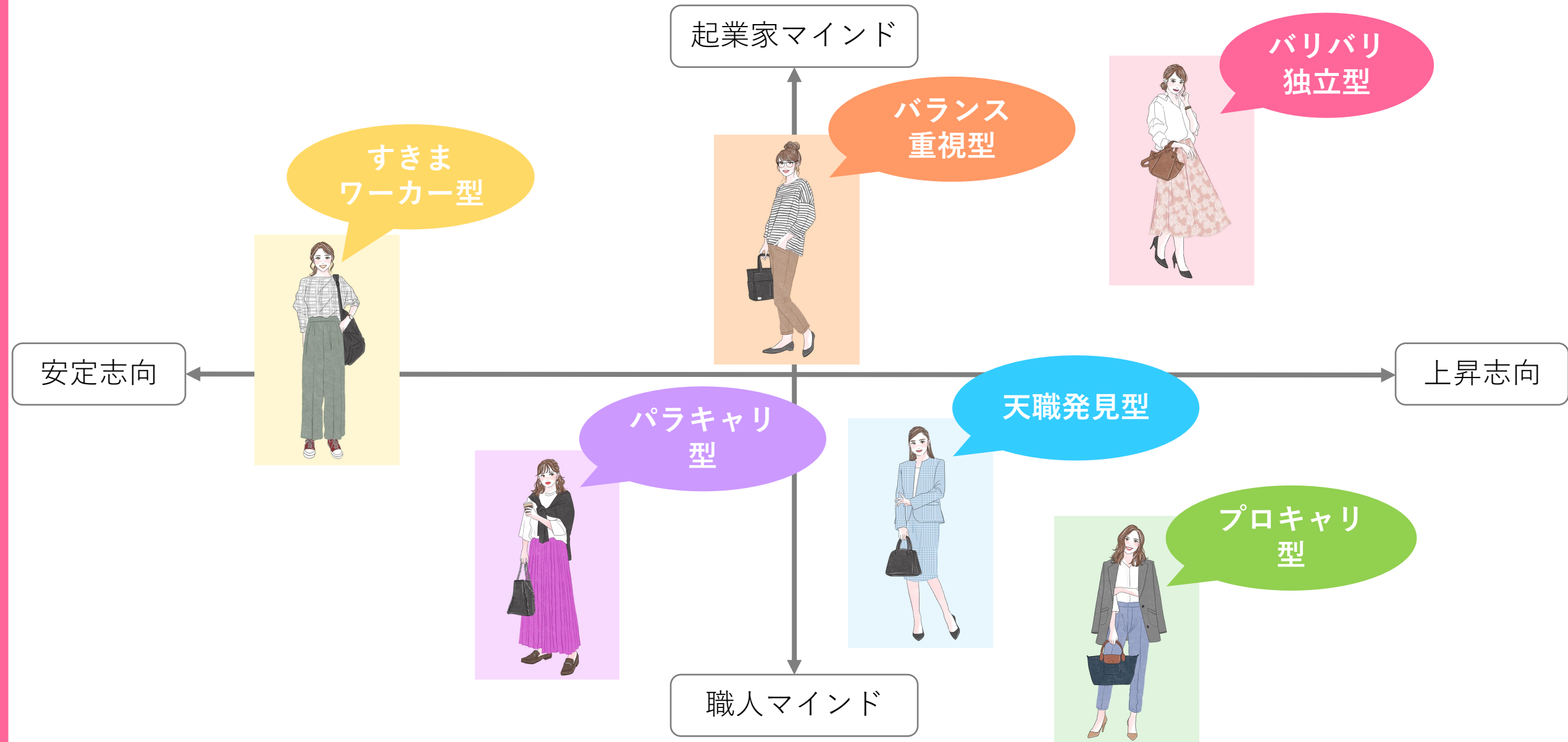
子育てや家事の合間に、効率よくお小遣い程度稼ぎたい。時間拘束のない仕事を選びたい。専業主婦からフリーランスになる方が多く、クラウドソーシングで参入障壁が低いライティングなどの案件を受託。



パラキャリア型

本業は会社員で、複業をしている。就業後や休みの時間を利用して業務委託で働いている。自分の好きな仕事を自由に組み合わせ欲張りに働く。

フリーランス女性クラスター分析マッピング



※起業家マインド/職人マインド：職種、業務形態、仕事の獲得方法、情報発信を点数化しそれぞれマッピング。
※上昇志向/安定志向：稼働日数、稼働時間、年収、将来の方向性、仕事ウエイトを点数化しそれぞれマッピング。

バリバリ独立型

特徴

- 主な職種：コンサル、デザイナー、プランナー等
- 報酬形態：成果報酬。4～7社程取引あり
- キャリアの志向性：
将来、法人化を目指している。現在の仕事の枠に捉われず、事業拡大や新規事業なども検討。
- マインド：好奇心旺盛、上昇志向が強い

モデルケース

- 都内在住、34歳
- 元々、PR会社で働いていたが、出産・育休を経て、32歳の時に独立。
- 現在は、ベンチャー・スタートアップをクライアントにPRプランナーとして活動
- フリーランスになってから仕事をコンスタントに獲得でき軌道に乗ったので、今後は法人化を検討
- また、企業からの受託案件だけではなく、今後は自身の事業を持つべく準備中

類似クラスターとの違い



プロキャリア型

上昇志向が高いところは共通点ですが、2クラスターの違う点は、キャリアの志向性（マッピングの縦軸）です。「バリバリ独立型」は今の事業内容に拘らず、新規事業や事業の横展開などのスケールアップの方向性で起業家マインドが強いです。一方、「プロキャリア型」は自分の専門分野を定め、その分野でのスキルアップを目指すので、職人マインドが強いです。

プロキャリア型

特徴

- 主な職種：企画職、コンサル、翻訳家等
- 報酬形態：業務委託でフルタイム勤務
- キャリアの志向性：
自分の持っている専門性やスキルをより磨きたい。
そのための資格・勉強などの自己投資は惜しまない
- マインド：真面目、保守的志向、成長意欲が強い

モデルケース

- 都内在住、39歳
- 元々、シンクタンクで働いていたが、管理職になるよりも現場で活躍できるフリーランスを選択
- 現在は、中小企業を中心とした経営コンサルを行う
- 独立後、しばらくは前職と業務委託契約を結び、最近では新規取引先も増えた
- 顧客の中小企業の社長から人脈で紹介してもらえる
- 休日は、スキルアップのため資格取得や勉強
- MBA取得も検討

類似クラスターとの違い



バリバリ独立型

P9参照



バランス重視型

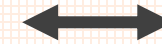
特徴

- 主な職種：ライター、デザイナー、イラストレーター等
- 報酬形態：成果報酬
- キャリアの志向性：仕事量を増やして収入アップするよりは、自分の得意なこと・好きなことでプライベートも重視しながら働きたい。バランスよく一生働きたい
- マインド：真面目

モデルケース

- 埼玉県在住、32歳
- 元タインハウスのデザイナーだったが、結婚を機に退職し、フリーランスに
- 初めは、画像制作などの格安単発案件からスタートしたが、最近ではHP制作などを受託
- 自分にあったスタイルでこのまま一生働きたい。
- フリーランスとしてスキルアップできているのか不安

類似クラスターとの違い



すきまワーカー型

キャリアの志向性（マッピングの縦軸）は近いですが、2クラスターの違う点は、仕事の目的の違いです。

「バランス重視型」は自分の得意なこと・好きなことで自分らしく働くことに重きを置き、心地よく働くことの優先度が高いです。

一方、「すきまワーカー型」は家事・育児との隙間時間を活用してお小遣い程度稼げる仕事をする傾向です。



天職発見型

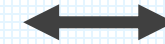
特徴

- 主な職種：研修講師、カウンセラー、習い事教室運営等
- 報酬形態：業務委託で週3日などのスポット対応
- 元々のキャリア：
今の職種と別の職種。退職後に、自分の好きなことを棚卸し、セカンドキャリアを見つけた
- キャリアの志向性：
一度キャリアをリセットし、資格取得や勉強を経て今の職業で独立。仕事に迷いがなく、誇りを持っている
- マインド：こだわりが強い、我が道を行く

モデルケース

- 都内在住、43歳
- 元々、一般職で働いていたが、結婚を機に退職
- 子供が中学生になり、時間ができたのでセカンドキャリアを考える
- 昔興味があった研修講師に興味を持ちチャレンジ
- 全国で研修、講演を行う

類似クラスターとの違い



プロキャリア型

職人マインドは共通ですが、2クラスターの違う点は、独立ルートの違いです。

「天職発見型」は、一度自分の本当にやりたいことを探し、スキル習得。キャリアをリセットしています。一方、「プロキャリア型」は元々会社で培った専門性をフリーランスとしてスピンアウトして働いているケースが多い傾向です。



すきまワーカー型

特徴

- 主な職種：ライター、デザイナー、イラストレーター等
- 報酬形態：成果報酬
- キャリアの志向性：ライフイベントや転勤等で会社を辞め、専業主婦を経て、フリーランスを選んだ。時間的に拘束されずお小遣い程度は稼ぎたい
- マインド：背伸びしない

モデルケース

- 都内在住、34歳
- 元々、都内で派遣社員として働いていたが、出産を機に専業主婦に
- その後、パートナーの転勤で地方へ
- 子どもが就学し時間に余裕ができたので、Webライターに興味を持ってチャレンジ
- クラウドソーシングである程度稼げるようになってきたので、専業でやることに
- これから子供の学費やローンなどお金がかかるイベントが多いので、もう少し稼ぎたい

類似クラスターとの違い



バランス重視型

P11参照



パラキャリア型

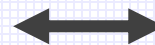
特徴

- 主な職種：資料作成、広報、マーケティング等
- 報酬形態：会社員をやりながら、業務委託で複業。就業後や休日を使って案件を受託している。
- キャリアの志向性：本業があるので、休日や隙間時間で複業を行っている。本業で行っていることを複業でも行っているケースが多い
- マインド：欲張り、努力家

モデルケース

- 都内在住、28歳
- 本業はIT関連ベンチャーのマーケティング職。複業では自身の興味がある海外コスメのマーケティング業務を委託している
- マーケの仕事が好きで、女性向けサービスも好きなので欲張りにどちらにも携わりたい
- 複業会社員として案件を獲得するためにSNS発信を頑張っている
- 条件によってはそのまま複業先に転職するのもアリ

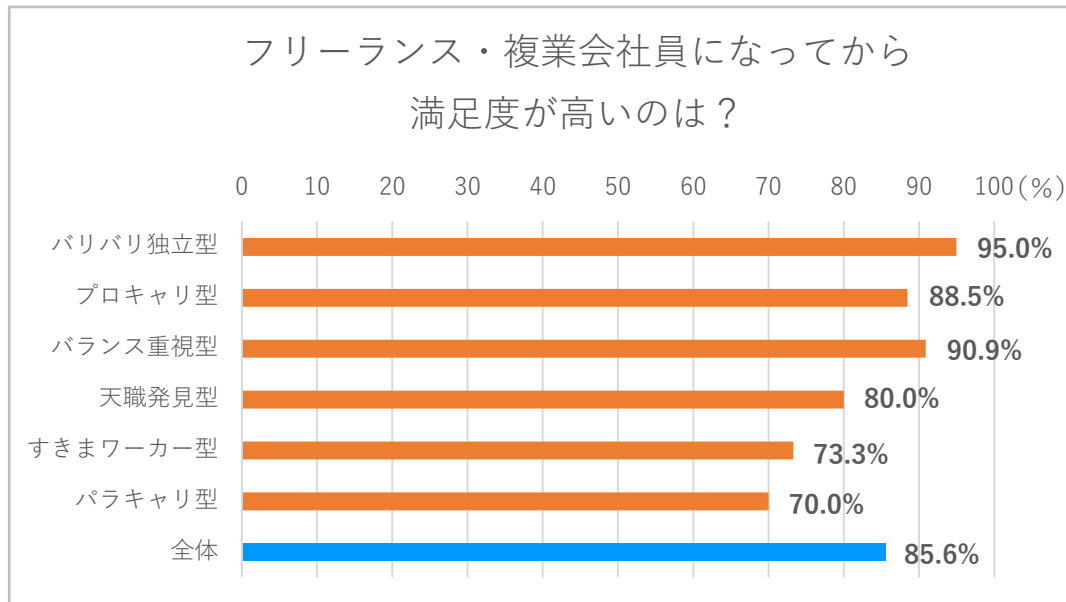
類似クラスターとの違い



バランス重視型

好きな仕事を選んでいるというのは共通点ですが、2クラスターの違う点は、時間の価値観の違いです。「パラキャリア型」は自分の得意なこと・好きなことを本業・複業でうまく組み合わせ、忙しく欲張りに働きます。一方、「バランス重視型」はプライベートのバランスを見て、柔軟な時間で好きなことを仕事にしています。

クラスター別 データ分析



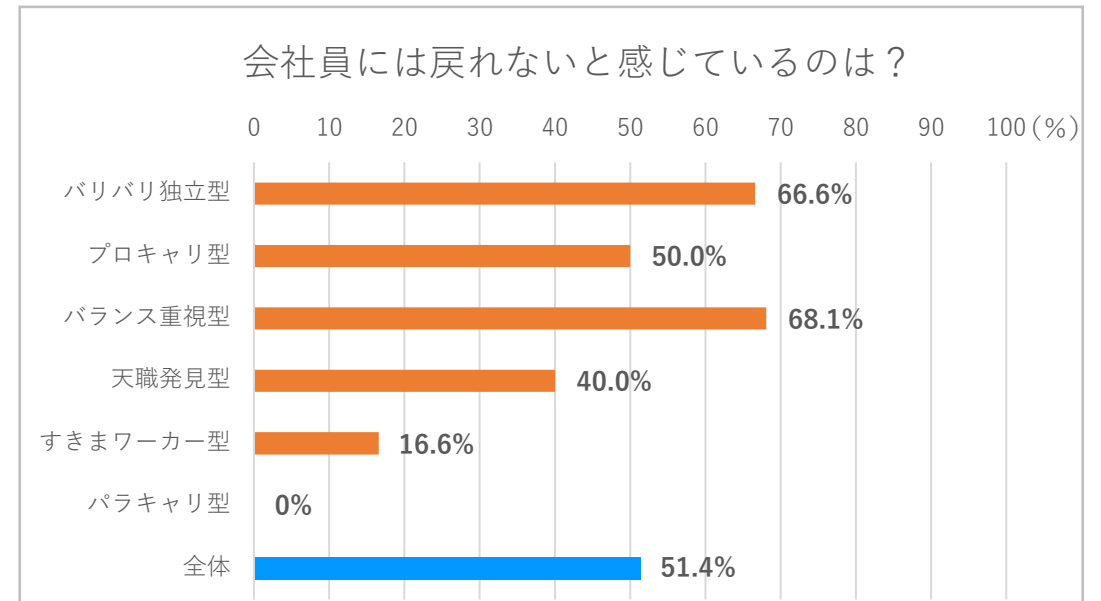
【分析コメント】

全タイプ総じて、フリーランス・複業会社員になってからの方が満足度が高い結果に。特に、スキルもあり案件を選ぶ自由度の高い「バリバリ独立型」と「バランス重視型」と「プロキャリア型」が高い傾向。

【回答者コメント例】

バリバリ独立型：働き方の自由度が高い。会社よりも責任の所在が明確。イヤなことは断れる。

バランス重視型：好きな仕事を自分で選べる。プライベートと仕事の時間を自分でコーディネートできる。



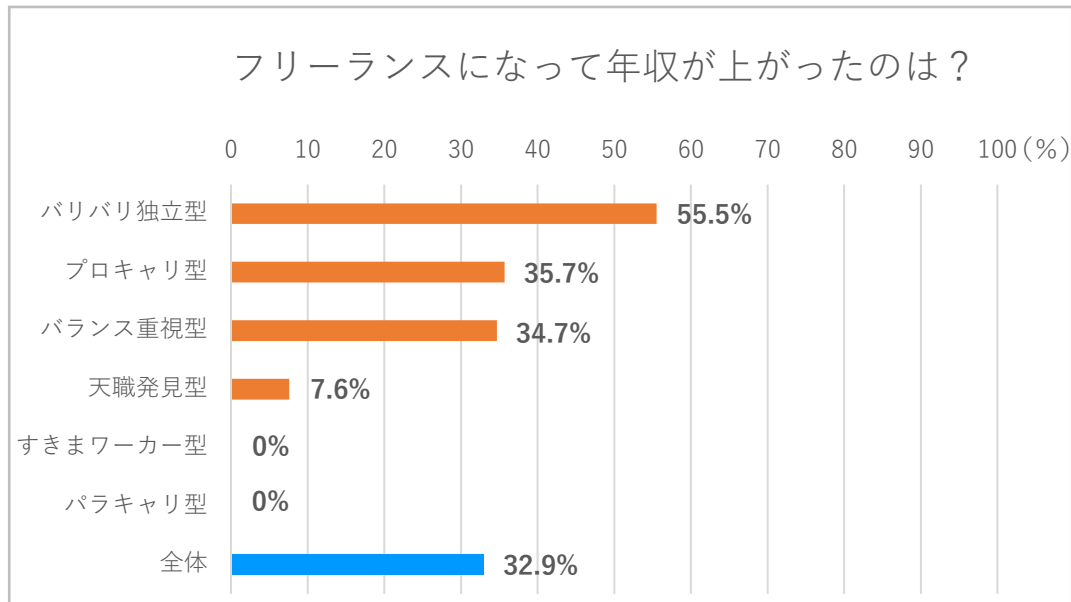
【分析コメント】

こちらの質問では、クラスターによって差が出る結果になった。まだフリーランス歴が浅く、売り上げも少ない「すきまワーカー型」は会社員に戻る可能性もあり。「バリバリ独立型」と「バランス重視型」は働き方の自由度が高いため、会社員には戻れないと感じる方が多い。

【回答者コメント例】

すきまワーカー型：仕事がなくなる不安。次にどんな仕事か来るかわからない。仕事も収入も安定していない。

クラスター別 データ分析

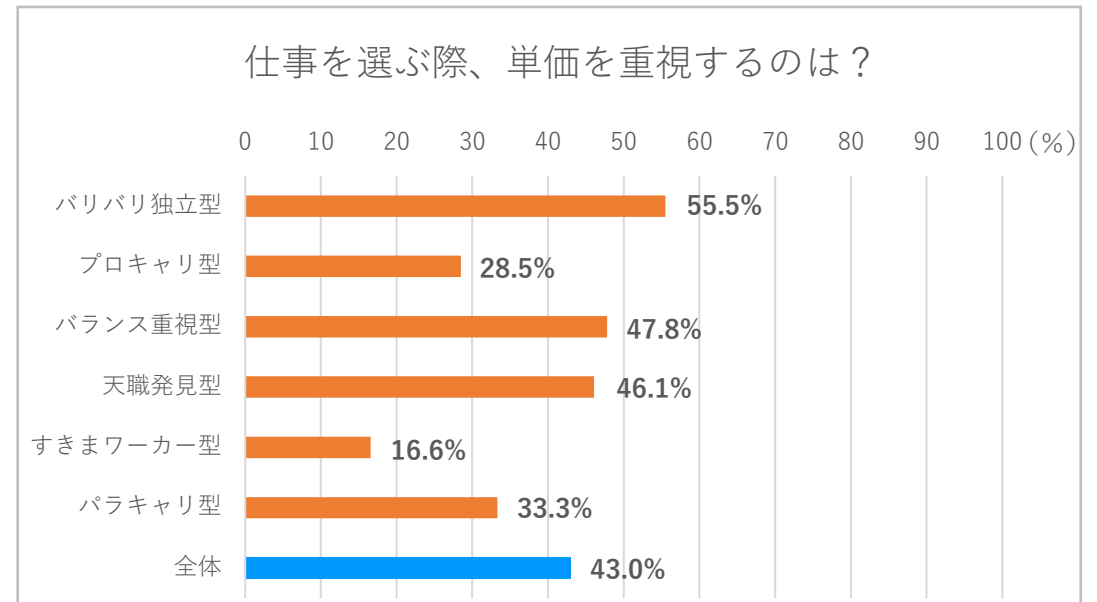


【分析コメント】

フリーランスになってから年収が上がったのは、元々スキルの高かった「バリバリ独立型」が顕著に高い。その次に、「プロキャリア型」と「バランス重視型」の割合が高い。元々スキルがあってそのまま独立に繋がったかどうか年収に関連している。

【回答者コメント例】

プロキャリア型：思ったよりも定期的に収入が入ったし、増えた。



【分析コメント】

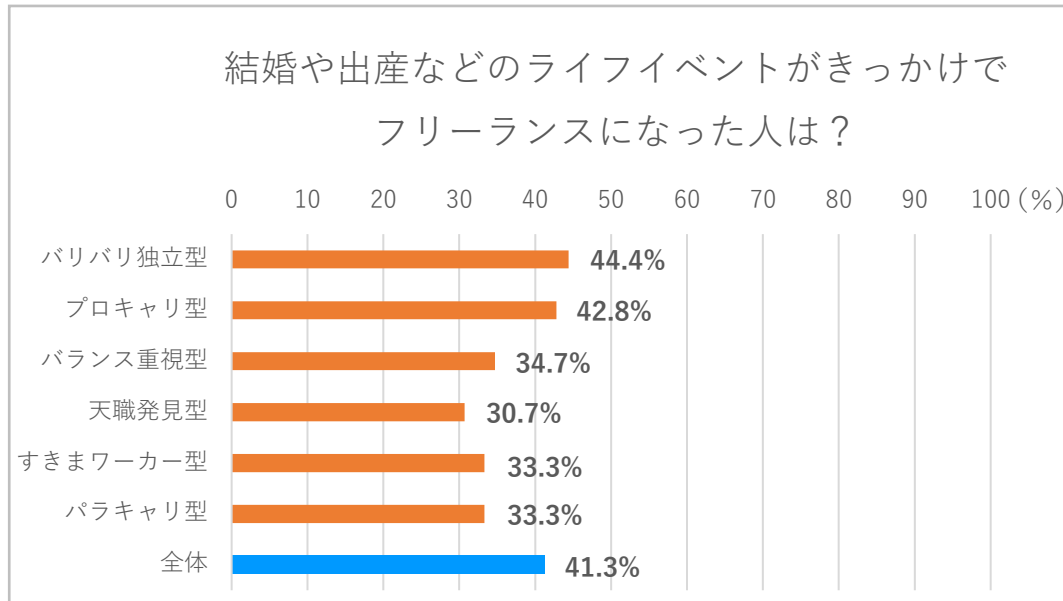
仕事を選ぶ際、まだフリーランス歴が比較的浅い方が多い。「すきまワーカー型」は、まだ仕事内容や単価が高い仕事を選べない状況。また、「プロキャリア型」は「自分が得意なこと」を重視する傾向が強い。

【回答者コメント例】

すきまワーカー型：ライティングの単価がかなり低い。

プロキャリア型：「自分のできること」で仕事をしていくがゆえ、「新しいこと」を学ぶ機会が少なくなりがち。

クラスター別 データ分析



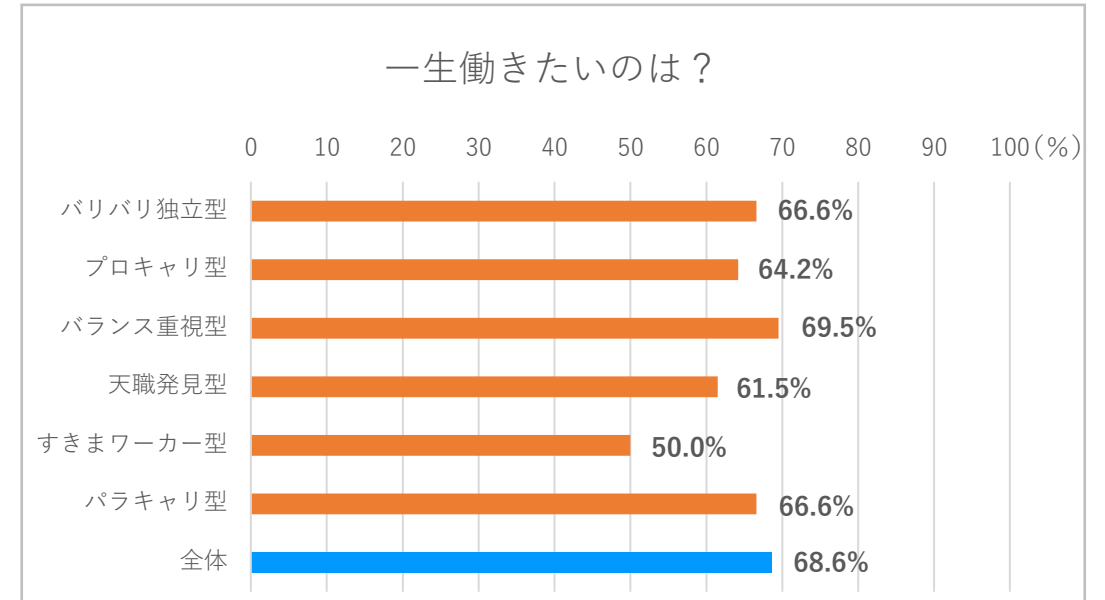
【分析コメント】

全タイプ総じて割合が多い。特に、フリーランスになる前バリバリ働いてキャリア志向だった「バリバリ独立型」や「プロキャリア型」は、結婚・出産・パートナーの転職などで正社員を手放すケースが多かった。

【回答者コメント例】

バリバリ独立型：イタリアへの移住がきっかけでフリーランスになった。

プロキャリア型：転居による離職、子どものサポートにあてる時間が必要になったため。



【分析コメント】

全タイプ総じて割合が多い。フリーランスの満足度が高いことと連動して、一生働きたい人が多い。「すきまワーカー型」は、お小遣い程度の金額を家事・育児の合間を活用して稼ぎたい人が多いので、他のタイプよりもやや低め。

【回答者コメント例】

すきまワーカー型：週数日の稼働でお小遣い程度稼ぎたい。

バリバリ独立型：今の収入を維持し、好きな仕事を自分らしく働きたい。

まとめ

今回の調査では「フリーランス女性」の働き方・キャリアの志向を分析しました。傾向として6クラスターに分類しましたが、その境界はあいまいで、ライフステージによってクラスターを変えながら、自分らしい働き方を模索しているフリーランス女性も多いことが考えられます。

今回の調査では抽出されなかったですが、SNSを駆使して事業を行うインフルエンサー型のタイプも近年増えてきており、10年前にはなかった新しい働き方と言えるでしょう。今後も時代の変遷とともに「フリーランス女性」の実態も変化をしていくのではないのでしょうか。

今回の調査をきっかけに、世の中が「フリーランス女性」の多様な実態に理解を深めるきっかけとなるとともに、女性のキャリアデザインの参考のひとつとなれば幸いです。

フリーランス女性の働き方・キャリア志向分析

令和3年版 フリーランス女性のクラスター分析

共同調査

合同会社カレイドスタイル・株式会社LASSIC

問合せ先

株式会社LASSIC 「フリーランス女性の働き方・キャリア志向分析」問い合わせ窓口

info@lassic-inc.co.jp